



NISA口座開設から「1年以下」は前年比3倍に

今年1月に制度改正されましたNISA(少額投資非課税制度)により、個人投資家の資産運用への関心は高まりを見せています。株式会社J.D.パワー・ジャパンが、NISA口座で運用を行っている20歳から79歳を対象に今年4月に実施した「NISA顧客満足度調査」結果(有効回答数5443人)によりますと、前年調査ではNISA口座の利用期間を「1年以下」と回答した人は約1割程度でしたが、本年調査では前年比3倍の3割超と大きく増加しました。また、このNISA口座開設から1年以下の利用者の投資経験年数をみますと、「投資経験1年以下」が前年の51%から19%に大きく低下しています。これは新NISAの投資枠の拡大や非課税保有期間の無期限化により、今までNISAに関心の低かった投資経験年数の長い層でもNISA口座を活用し始めていることが背景にあると考えられています。

新NISA制度への移行に伴い、旧NISA口座と新NISA口座で資産運用する金融機関を「変更した」人の割合は1割に満たず、9割超は金融機関を変更していません。また、金融機関を変更していない人たちが、その金融機関でNISA口座の利用を続けたい意向(「非常にそう思う」、「ややそう思う」の合計)について確認すると9割超と非常に高い割合となったことが分かりました。NISA口座において金融機関を変更するには、移行時期の制限や新旧両方の金融機関での手続き等の負担が存在するため利用者にとっては手間となり、心理面でのスイッチングコストが高いことが想定されています。これらを踏まえ、金融機関にとってNISA口座の獲得には、顧客が最初に開設するNISA口座として選ばれることが重要であると言えます。

NISA口座開設の理由(複数回答)を部門ごとに見ますと、その理由に違いがあることが確認されました。トップの理由として、全国系銀行部門では「その金融機関の窓口/担当者の勧め」が、対面証券部門では「NISA口座の開設が簡単」が、ネット証券部門では「NISA口座での取引手数料が安い」が挙がりました。また、「NISA口座の開設が簡単」が、前年に引き続き、全ての部門において上位に挙がっています。金融機関にとってNISA口座の拡大のために、顧客が容易にNISA口座を開設できるような取組みを行うことは、全国系銀行・対面証券・ネット証券に共通して重要な要素であると言えます。

NISA口座の開設理由を年代別にみますと、「NISA口座に関するキャンペーン・優遇制度が充実」、「NISAに関する情報が充実」、「NISAに関する広告・宣伝がよい」、「NISAに関するインターネットでの評判がよい」が、いずれの部門においても若年層ほど高くなっています。このため、長期的な取引を見込める若年層を取り込むためには、情報発信、またWebを始めとしたマーケティング施策の高度化が有効としています。

*詳細はこちらからご確認いただけます。

「J.D. パワー 2024年NISA顧客満足度調査(株式会社ジェイ・ディー・パワー ジャパン)」
令和6年7月4日

<https://japan.jdpower.com/sites/japan/files/file/2024-06/2024 Japan NISA Investor Satisfaction Study.pdf>

